

日本式港湾経営をイラク経済復興の鍵に

—イラク港湾管理者が横浜港・博多港を視察、企業との意見交換も—

JICA東京が2017年12月3日～20日イラクの港湾管理担当者15名を招いて行う港湾経営研修では、港湾経営の効率化と港湾運営への民間企業参画促進の面でイラク政府をサポートします。講義と視察を通じて日本の港湾経営の実情に触れる他、イラクの港湾整備に関心を持つ日本企業との交流も行います。

面積が日本の1.15倍あるイラクの海岸線は全長わずか48km。数少ない港はイラン・イラク戦争以来の争乱で施設の多くが破壊され、放置された沈船が航路を塞いでいました。これらの復興及び新港の開発が今後のイラク経済の発展の大きなカギを握っているため、JICAは既存のウンム・カスル港及びコール・アルズベール港における港湾機能の回復と効率化を図るため、2件の円借款事業（港湾セクター復興事業：302.11億円、港湾セクター復興事業（II）：391.18億円）による浚渫、沈船除去、土木工事や機材調達などに協力しています。

これら事業を担うイラク港湾公社及びイラク運輸省の職員を技術的にサポートするための技術研修をJICA東京で実施。日本の港湾関係者や行政官による講義の他、12月7日に横浜港の大水深コンテナターミナル等を陸上と船の上から視察、12日は博多港を訪れコンテナターミナルやコントロールセンターを視察し、最新の日本式港湾運営管理の実情に触れていただきます。また、11日にはイラクの港湾開発・運営への参画に関心を寄せる本邦企業との意見交換会でイラクの港湾の現状等を発表します。

【取材可能な日程】

12月7日 10:00～16:30	横浜港視察	10:00～11:30 横浜港の概要講義 13:30～16:30 大水深コンテナターミナル、ターミナル建設現場視察および公用船上からの港内視察
12月11日 13:30～17:00	日本企業・関係者との意見交換会	イラクの港湾の現状・関連円借款事業の紹介、日本企業関係者との意見交換 (場所：TKP麴町駅前会議室カンファレンスルーム8A)
12月12日 14:00～17:00	博多港視察	14:00～15:30 代表挨拶、概要説明他 15:30～16:30 コントロールセンター、ICCT視察

取材をご希望の場合は、以下の問い合わせ先に事前にご連絡くださいませ。

JICA東京 経済基盤開発・環境課 井上

TEL:03-3485-7652 E-mail: Inoue.Tatsuaki@jica.go.jp

別添：日程表・意見交換会概要

研修日程表

研修コース名

イラク港湾経営能力強化（2017/12/03(日)～2017/12/20(水)）

日付	時刻	形態	研修内容	研修場所等	用務先住所	宿泊先
12/03(日)	～		研修員来日	JICA東京		JICA東京
12/04(月)	10:00 ～ 12:30		JICAブリーフィング	JICA東京 SR408		JICA東京
	14:00 ～ 16:00		プログラムオリエンテーション	JICA東京 SR303		
12/05(火)	10:00 ～ 10:30	表敬	国土交通省	国土交通省	東京都千代田区 霞が関2-1-3	JICA東京
	11:00 ～ 11:30	表敬	JICA本部	JICA本部	東京都千代田区 二番町5-25	
	14:30 ～ 16:30	講義	港湾のマーケティング	JICA東京 SR306		
12/06(水)	10:00 ～ 11:30	講義	日本の港湾分野における国際協力	JICA東京 SR306		JICA東京
	13:30 ～ 15:00	講義	港湾コンセッションの進展			
	15:15 ～ 16:45	講義	IAPH and Challenges facing World Ports (IAPHと世界の港湾が直面する課題)			
12/07(木)	10:00 ～ 11:30	講義	横浜港概要	横浜港	神奈川県横浜市 中区山下町2 神奈川県横浜市 中区海岸通1丁 目	JICA東京
	13:30 ～ 15:00		横浜港港内見学			
12/08(金)	10:00 ～ 11:30	実習	ワークショップ準備	JICA東京 SRA-B		JICA東京
	13:30 ～ 17:00	実習	港湾の開発・運営のコンセッション事例イラクへの民間参入促進策ワークショップ（3グループ）			
12/09(土)			休日			JICA東京
12/10(日)			休日			JICA東京
12/11(月)	10:00 ～ 11:30	討議	プレゼンテーション準備	TKP麹町駅前会議室	東京都千代田区 麹町3-2	JICA東京
	13:30 ～ 15:30		本邦企業に対するイラクへの民間参入説明会			
12/12(火)			移動：東京→博多			リッチモンド ホテル福岡 駅前
	14:00 ～ 17:00	見学	博多港概要説明、見学	博多港ふ頭 (株)	福岡県福岡市東 区香椎浜ふ頭4- 2-2	
12/13(水)	10:00 ～ 12:00	見学	博多港ポートタワーからの観覧	博多港ポート タワー	福岡県福岡市博 多区築港本町 14-1	JICA東京
			移動：博多→東京			
12/14(木)	10:00 ～ 11:30	講義	国内の港湾の民営化	アクセア半蔵 門貸会議室	東京都千代田区 隼町2-13	JICA東京
	14:00 ～ 15:30	講義	民間港湾投資の評価			
12/15(金)	09:00 ～ 10:30	講義	PPP理論と実際	アクセア半蔵 門貸会議室	東京都千代田区 隼町2-13	JICA東京
	13:30 ～ 15:30	講義	コンセッションプランの作成			
12/16(土)			休日			JICA東京
12/17(日)			休日			JICA東京
12/18(月)	10:00 ～ 11:30	講義	港湾管理・運営の課題と対応	JICA東京 SR402		JICA東京
	13:30 ～ 16:30	実習	イラク港湾マスタープラン調査の提言/イラクの管理運営への提言(3グループワーク)			
12/19(火)	10:00 ～ 11:00	発表	研修成果報告	JICA東京 SR410		JICA東京
	11:00 ～ 12:00		報告会			
	12:00 ～ 12:30		修了式			
			帰国準備			
12/20(水)			研修員帰国			

*本日程は11月30日時点での予定であり、細部において変更の可能性があります

イラク国港湾公社等からの訪日研修参加者と本邦企業様との意見交換会の開催について

独立行政法人国際協力機構
東京国際センター

イラクでは、2008年から円借款事業により港湾復興を進めており、現在、「港湾セクター復興事業（Ⅱ）」により、ウナム・カスル港やコールアズルベール港の整備を進めています。一方、港湾ターミナルの運営に民間企業の参加を進めようとしており、一部のターミナルで民間運営、あるいはコンセッション方式によるターミナル建設が進められています。しかしながら、現状では、港湾効率や入出港手続きなどに多くの課題を抱えており、港湾経営・運営の向上が期待されています。

弊機構では、港湾行政を担う政府及び政府関係機関の職員を対象に、港湾運営・港湾経営に関する能力の向上を図ることを目的とし、今回イラク港湾公社等から15名の職員の日本研修を実施します。この機会に、イラク港湾公社から本邦企業等関係者にイラクの港湾の現況、整備計画、プロジェクト等を紹介する機会を設定いたしました。また、現在進行中の「港湾セクター復興事業（Ⅱ）」の状況もご紹介したいと存じます。

つきましては、本意見交換会にご参加いただき、イラク国港湾の現状、プロジェクト等をご聴取して頂いて、今後の関係構築強化につなげていただければ幸いです。

1. 意見交換会のアジェンダ（予定）

- ① JICA 挨拶（使用言語：日本語）
- ② イラクの港湾の現況、整備計画、プロジェクトの紹介（イラク港湾公社（GCPI）、使用言語：英語）
- ③ 「港湾セクター復興事業（Ⅱ）」の進行状況（日本工営・オリエンタルコンサルタンツグローバル、使用言語：日本語）
- ④ 意見交換（使用言語：日本語/英語）

2. 開催時期・場所

2017年12月11日（月） 13：30 開始～15：30 終了

於 TKP 麴町駅前会議室 カンファレンスルーム 8A

※開場・受付は 13:00～13:30